

大山 徹先生

先生のプロフィール

【出身地】

岡山県

【専攻】

経済刑法

【近年(2~3年)の担当科目】

刑法各論 A/B・ベーシック演習・ミドル演習・
アドバンスト演習

【最近、買って良かったもの】

韓国対応型電源、モバイルバッテリー



【どういう人にゼミに入ってほしいですか？】

容量が良い人に入ってほしいとも思うけど、やっぱり、ストイックに勉強ができる人や刑法が好きの人に来てほしい気持ちがあります。民法などと比べて資格試験などで必須になってくる場面は多くはないけれど、刑法や経済刑法に関心がある人が入ってくると嬉しいです。みんながみんなそんな感じだとすごく真面目なゼミになってしまうけど…
(笑)

【先生のガクチカはなんですか？】

刑法の教科書をよく読んで勉強したのはもちろんのこと、他にもいろんなことにチャレンジしました。英語討論サークルに入って、2週間の合宿に参加したり、大会で20分間のスピーチをしたりしました。でも、今では全く話せなくなってしまったので、語学は続けることが大事だと思います。

【刑法の好きなのはなんですか？】

理屈をこねまわすところかな。概念の空中戦みたいのところとか、共犯の従属性とか要素従属性とかが好きでした。例えば、不作為犯の因果関係のように、かつて主流として考えられてきたことが、議論を重ねることで考え方がガラッと変わるの面白いですし、他の学問ではあまり経験しないことじゃないかなと思います。ああでもない、こうでもないと考え抜いた先に、解答が見つかるのが面白いです。ドラマなどでもよく見る身近な法律だけど、究めようと思うと難しいです。

【学生へメッセージ】

世の中の変化のスピードを敏感に感じ取って、20年後に何が流行るのかみたいなことを考えておいた方が良いでしょう。実際どうなっているかはわからないけれど、サバイバル術を身に付けておくといいかもしれないですね。

★プログレッシブ 大山ゼミの実態！（2025年度ゼミ生 25名）

★大山先生のトリセツ

話しかけやすく、親身になって話を聞いてくれます。
様々な分野への関心が高く、ゼミで取り上げられる話題はどれも興味深いものです。
刑法課題の発表では、良い点や改善点、補足等を丁寧にしてくれます。
井田良教授との師弟関係が今でも続いています。

日々や休暇中の課題

活動内容

【日々の準備、課題】

日頃の出来事に関心を持つために、新聞やニュースを見ることを習慣づけると良いです。

刑法の基礎知識があるとより授業で扱う内容がわかりませんが、授業内で先生が丁寧に説明して下さるので、初めてでも心配いらないです。

【長期休暇課題】

簡単な課題に対するレポートが出ることがあります。

新聞記事や刑法の判例を見て、出されたお題に対する感想を授業内で発表します。

好きな刑法分野を個人またはグループで調べ、10分程度の発表をすることがあります。

クォーターの終わりに大山先生とゼミ生で食事会をすることがあります。

新1年生に何か一言！

刑法を学ぶことは勿論のこと、日々変化していく日本、世界の状況に関心を持ち、対応できる知識や思考力などをゼミでの活動を通して身に付けられるようになってほしいです。